

和の光

宝塚市立西谷中学校



努力を続けることの大切さ

校長 筒井 啓介

■私は、西谷中生の皆さんに、「日々の努力の積み上げを大切にしたい」と話して来ました。「努力はするけれど、なかなか結果が出ないので心がおれそう…」などの声を聞くことがあります。ここで、一つのことばを紹介します。

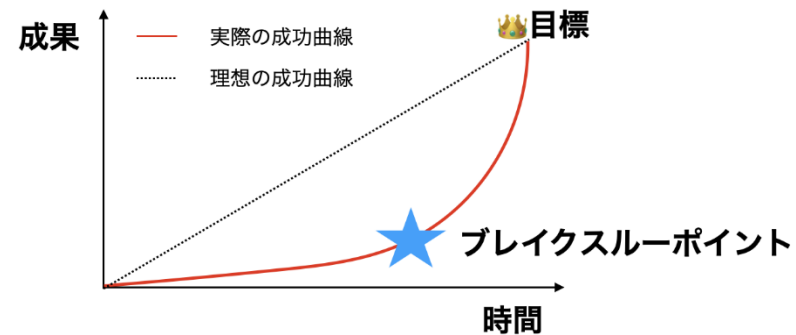
「才能の差は小さいが、努力の差は大きい。継続の差は、もっと大きい。」

(大野 智：歌手)

■さて、このことばから皆さんはどのようなことを感じましたか？
人が成功するか否かは、才能の差でなく努力の差、もっと言えば「努力をいかに続けたかの差」によって決まるのです。このことを端的に示した名言だと私は感じます。

■「私には才能がないから」というのは、やらない言い訳です。「努力は必ず報われる」と信じて努力を積み上げることが大切です。ただし、勉強やスポーツ、芸術でも、最初のうちは「やった分だけ成長する時期」が続きますが、ある時から急に、「頑張っても目に見える成長がない」という**一時的な停滞状態（ブレイクスルーポイント）が訪れます**。自分なりに頑張っているのだけれども、なかなか結果が出ずに、「自分には才能がないのではないか」「これが自分の限界なのか」と悩んだり、苦しんだりすることになります。この「伸び悩みの時期」になるとどうしても自分の能力に疑問を持ち、「頑張っても無駄じゃないか」という心境になってしまいがちですが、**飛躍に向けた大切な時期なのだ」と前向きに捉えることが大切なのです。これが「限界」と思い、「努力」をやめた瞬間から「成長」は止まるのです。**

■これからも自分自身を成長させるには、いくつかの壁を乗り越える必要があります。それには、努力以外の方法はありません。皆さんには無限の可能性が秘められています。決して諦めることはなく、自分を信じて頑張りたいと願います。



「成功曲線」

■西谷ふる里祭りが開催されました（7月20日）

夏休みに入っすぐの土曜日、西谷ふるさと祭りが開催されました。祭りの開催に先立ち、本校の吹奏楽部がオープニングセレモニーで「アラジン」を演奏しました。体育館にはたくさんの地域のみなさんが集まりました。また、宝塚市副市長の井上輝俊様をはじめたくさんのご来賓の方々もお越しくださいました。吹奏楽部のメンバーは少し緊張気味に見えましたが、顧問と部員の心をつなげて、堂々と演奏を披露してくれました。部員の人数も増え、演奏できる楽器も増えたので、同じ曲でも表現に深みを感じることができるようになりました。演奏を終えた部員たちの表情は笑顔に満ちていました。たくさんの感動を有難う。益々の活躍を楽しみにしています。

下記にふる里祭りの様子を写真で紹介させていただきますので、ご覧ください。



吹奏楽部による演奏(オープニングセレモニー)



たくさんの皆さんに聴いていただきました



12名の部員と顧問が心をついに西谷中サウন্ズを披露

夏休み最高の思い出になりました